

- Arthropoda Crustacea Decapoda 節足動物、甲殻綱、十脚目  
 Brachyura 短尾亜目  
 Portunidae ワタリガニ科  
 Thalamita sima H. Milne-Ewards  
 フタバベニツケガニ 692  
 Calappidae カラツバ科  
 Matuta planipes Fabricius アミメキンセンガニ 722  
 Dromiidae カイカムリ科  
 Petalomera granulata Stimpson ヒラアシカムリ  
 Mollusca Cephalopode Decapoda 軟体動物、頭足綱、十腕目  
 Sepioidae ミミイカ科  
 Euprymna morsei Verrill ミミイカ 1019  
 Cranchiidae ホホズキイカ科  
 Cranchia scabra Leach サメハダホホズキ 1027  
 Annelida Polychaeta Polychaeta 環形動物、多毛綱、多毛目  
 Amphinomidae ウミケムシ科  
 Chloeia flava (Pallas) ウミケムシ 1311  
 Annelide Hirudinea Rhynchobdellae 環形動物、蛭綱、吻蛭目  
 Glossiphoniidae グロシフオニ科  
 Ancyrobdella biwae Oka イカリビル 1387  
 Coelenterata Anthozoa Octocorallia Pennatularia  
 腔腸動物、花虫綱、八放亜綱、海綿目  
 Veretillidae ウミサボテン科  
 Cavernularia obesa Moroff ウミサボテン 1552  
 以上(伊藤十治記)

## 敦賀市浦底海岸における海産動物採集記

昭和34年8月7日より同月9日までの3日間、敦賀市浦底に於て総合採集会が催された。当方面は昭和27年以来2回目の採集で未だ不十分である。しかし、大阪芸大の馬場教授は敦賀湾から後鰓類40余種を報告(58採と飼Vol 20)しておられる。こうした意味もあつて館長の御好意で殆んど海産動物を主目的の採集会として計画させて頂いたわけである。ところが折悪しく台風の本土接近にわざわざいされて7日夕刻より降りはじめ雨は8日も激しく続いて文字通りの雨中行脚になつた。それでも堀館長、小林(貞)島崎、酒井、伊藤(十)の一行七名の協力

によつて最悪の天候条件でありながら、当方面の資料が豊富である事の片鱗を確認し得たのは誠に有益であつた。此の間浦底分校の長岡、下森両氏の御熱心なる御援助を深く感謝致します。

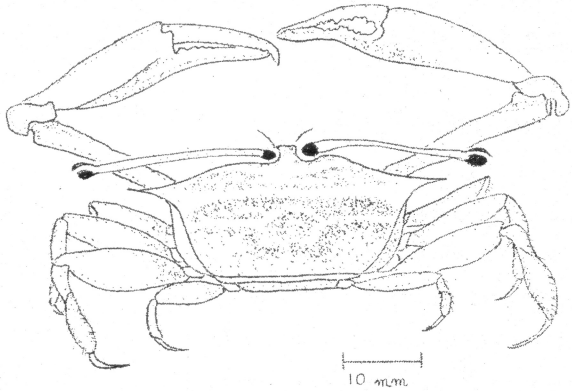
次に目録及び一二の種について記載し研究の資料とします。

- 1 魚類 キユウセン、オニオコゼ、インダイ、メジナ、ナベカ、カワハギ、クロソイ、ブリ、マアジ、ギンボ、クサフグ、サバフグ、ゴンズイ、ハオコゼ、ミノカサゴ
- 2 海鞘類 カラスボヤ、キクイタボヤ、ユウレイボヤSP.
- 3 棘皮動物 ヒトデ、スノメイトマキ、イトマキヒトデ、モミジガイ、アカヒトデ
- 4 節足動物 コシマガニ、カイメンガニ、ミズヒキガニ、ゾウリエビ、イボテガニ、アミメキンセンガニ、フタホシヒメガザミ、カイメンガニ、ヒラアシカムリ、コブシガニSP. ツノガニ（海綿の着生したもの）、タイワンガザミ（鋸脚のみ）スジオシヤコ、テツボウエビ
- 5 軟体動物 ミミイカ、イソアワモチ、アオウミウシ、ムカデメリベ、ミノウミウシ（貝類中アラレタマキビが水島の海岸線にそつて特に多く見られた）
- 6 その他 ツノヒムシ、コブコケムシ、フサコケムシ

以上の外、博物館目録に加えられた新しい採集品は次の様である。

I めながおさがに

*Macrophthalmus*  
*telescopicus* (OWEN)  
(♂2 個体)

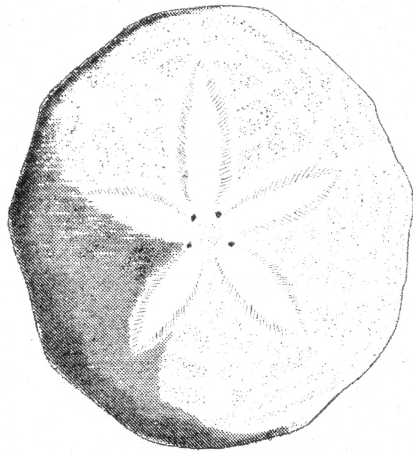


II よつあなかしばん

*Peronella lesueurii*  
(A. Agassiz)

.....(♂♀不明 23 個体)

大形のもの縦径88~61 mmで、横径は84~54 mmあり、生時は淡赤褐色、歩帯の花紋は濃赤褐色。このうち6個体は赤味がなく花紋以外の模様(図)が稍明瞭で他は何れも不鮮明。ホルマリン液(約10%)では生時とほぼ変色はなかつたが、アルコール保存のもの8個はタコノマクラに時々見られるような緑色に変わった。



(尚“海辺生物写真”「馬場 1958」では P. japonica となつている。)

III すかしばん *Astriclypeus manni*. Verrill

..... (♀♂不明1個体)

前種と同個所で海底の砂中に浅く埋もれているものを採集した。

IV かめのこふしえらがいの一種 ..... (5個体)

長さ18~12 mm、巾11~9 mmの長楕円形、体表は亀甲形若しくはそれに類似した形の症に覆われ、触角円筒状一対、生殖門は鰓の前に開く、貝殻は認められない。

以上(田尻利広記)

### 勝山市岩屋方面植物採集記

昭和34年5月10日本年度第1回の採集会を勝山市岩屋方面で行つた。非常に曇の多い今にも降り出しそうな天候であつたため参加者が少なかつたが、小舟渡駅前へ集合した者は勝山中学校生徒20名、松本小学校生徒6名を含めて38名であつた。生徒が多いので路傍の草から採集を始めた。

主な採集品は次の如くである。

#### 平野部(小舟渡駅前—東野)

カスマグサ、ナズナ、ミズタバコ、コモチマンネングサ、カワジサ、キウリグサ、ヒロハコンロンソウ、ミズキ、トキワハゼ、ツルナシヤハズエンドウ、ヘビイチゴ、ウマノアシガタ、タガラシ、トラノオシダ、オクマワラビ、トウバナ、コジユズスゲ、スズメノカタビラ、スズメノテツボウ、オウイチゴツナギ、ウメバチモ、フサモオヤブジラミ、カサスゲ、

#### 山間部(東野—岩屋)

シヤク、ヤブニンジン、クサノオウ、ムラサキケマン、イブキヌカボ、カテンソウ、アイズスゲ、ヌカボシソウ、ヤワラスゲ、ニシノホンモンジスゲ、オタルスゲ、ヒメヘビイチゴ、ジャニンジン、ノブキ、ウマノミツバ、トボシガラ、ヌカボ、カニツリグサ、ヤブデマリ、クマ

